

交通ビジョン推進プログラム一覧のスケジュールと達成状況等

※Noの()書きは当初プログラムから追加した施策

《スケジュールの凡例》

検 討 : 施策の実施に関する検討を行うこと。(例:関係者間の調整、施策の具体化、社会実験、財政状況等による実施時期の見極め)

事業着手 : 施設等の整備に向けて事業化(実施設計段階も含む)を目指すこと。

事業継続 : 施策を行うこと。なお、施策の効果は、施策が完了するまで発現しない。

実 施 : 施策を行うこと。なお、施策の効果は、施策を行うたびに発現する。

完 成 : 施策が完了すること。

なお、道路関係施策において、計画延長の一部分の整備が完了(計画延長1kmのうち、500m区間の整備が完了など)する場合は完成(部分)、計画断面の一部の整備が完了(計画車線数4車線のうち、2車線の整備が完了など)する場合は完成(暫定)と表記しています。

《スケジュール達成状況の凡例》

○ : 達成

× : 未達成

— : 事業の実施や完成を目標として設定していないもの

1. 公共交通支援に関するプログラム

JR線の機能強化

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	~平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
1	JR可部線の河戸電化延伸	事業着手	完成	○		平成25年2月に、JR西日本と事業実施について合意し、平成29年3月4日に、電化延伸 区 間(可部駅ーあぎ亀山間)が開業
	緑井・可部間の10分ヘッド化	検討		—		(JR関連の他事業の整備状況を踏まえ今後検討予定)
2	JR在来線の快速電車の運行	実施		○		JR西日本で、利用実態に応じた快速電車の設定をダイヤ改正に合わせて実施 (山陽本線、呉線、芸備線において運行済)
3	JR在来線の車内設備の改善、車 両の増設	実施		○		トイレや半自動ドア(停車時における車内温度の快適性を保つための改善)を整備し、車内 設備を改善 平成27年度から、新型車両を導入中
4	JR芸備線の下深川・広島間の10 分ヘッド化	検討		—		(JR関連の他事業の整備状況を踏まえ今後検討予定)

宮島線電車の機能強化(LRT化の推進)

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	~平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
5	超低床車両(LRV)の導入[宮島 線]	実施		×	市内線への導入を優先したため	(市内線への超低床車両の導入を実施)
6	急行便の導入[宮島線]	検討	実施	×	広島電鉄による内部検討の結果、追い越し施設設置に多額の 費用を要し、費用対効果が見合 わないとの結論に至ったため	広島電鉄において、実現可能性を検討。(検討の結果、費用対効果が見合わないとの結 論に至ったため、今後実施しない)

新交通ネットワークの整備

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	~平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
7	白島新駅の設置	完成	—	○		JRとアストララインの新白島駅が平成27年3月14日に開業
8	新交通西風新都線の整備	検討		—		予備設計、環境影響評価(実施計画書作成)に着手

路面電車の機能強化(LRT化の推進)

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
9	超低床車両(LRV)の導入〔路面電車〕	実施		○		平成24年度～平成29年度 広島電鉄において、市内線に14編成導入(うち市の補助は6編成)
10	電車優先信号の設置〔路面電車〕	実施		○		平成25年度に八丁堀交差点(本線・白鳥線間)に電車優先信号を設置(平成29年度末で市内4か所に導入)
11	電車ロケーションシステムの高度化〔路面電車〕	実施		○		広島電鉄において、平成29年度末で電停:市内線17電停、宮島線(域内)11電停に導入済み
12	交差点の軌道舗装改良〔路面電車〕	実施		○		平成20年度から、八丁堀交差点、的場交差点などで軌道舗装改良を実施
13	電停施設の改良〔路面電車〕	実施		○		平成20年度から、広島電鉄等において、市役所前電停等14電停を改良
14	電停の統廃合〔路面電車〕	検討	実施	×	地元の理解や、あわせて行う必要があるバリアフリー化、これに伴う車道断面構成の見直しなどの課題があり、広島電鉄と連携した慎重な検討が必要となるため	(広島電鉄と連携しながら、近接した電停統廃合の可能性について検討中)
15	信用乗車方式の導入〔路面電車〕	検討	実施	○		平成30年5月に、一部車両においてICカード全扉降車サービスを実施
16	短絡ルート整備(駅前大橋ルート)	検討		—		平成26年度に広島駅南口広場再整備等に係る基本方針を決定・公表し、基本設計に着手 平成28年度から環境影響評価手続きなどを進めている
17	短絡ルート整備(江波線接続ルート)	検討		—		(広島電鉄関連の他事業の整備状況を踏まえ今後検討予定)

バスの機能強化

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
18	バス走行環境の向上 (バス専用レーン等の遵守、PTPSの導入拡大)	実施		○		広島三次線等に導入済
19	急行バス・深夜バスの拡充 (路線新設、運行本数の増加)	実施		○		導入済
20	BRT(Bus Rapid Transit)の導入	検討		—		(交通事業者において導入可能性について検討中(バス活性化に向けた取組の中で具体的な方策を検討))
21	バス路線の再編(公共交通連合の検討)	検討		—		(平成30年3月28日に、都心部を対象とした地域公共交通再編実施計画(第1版)について国の認定を受け、平成30年5月13日より都心循環線の運行を開始。)

利用サービス(情報提供等)の向上

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
22	交通結節点における公共交通に関する情報の充実	実施		○		平成23年度 広島バスセンターの乗車券等窓口及び乗り場ホーム入口に、高速バス運行情報表示機を設置 平成26年度 バスロケーションシステムのサービスを開始 平成27年度 広島駅南口への交通案内所の設置 平成29年度 広島駅新幹線口への交通案内所の設置
23	携帯電話等による公共交通に関する情報の提供	実施		○		平成22年度から、携帯電話コンテンツ提供会社ゾルダンが「バスゲート」による情報提供を開始 平成26年度から、市内中心部を中心とした路線で、バスロケーションシステムのサービスを開始
24	転入者に対する情報提供	実施		○		平成27年度から、各区において、転入者に対し、市内の公共交通に関する情報提供
25	バス停時刻表の改善	実施		○		平成22年度から、行先別の統一時刻表や4か国語表示を実施 平成26年度から、市内中心部を中心とした路線で、バスロケーションシステムのサービスを開始
26	昼間割引、乗継割引等の利便性の高い運賃体系・制度の導入	検討		—		平成29年11月から、都心部における180円均一エリアの設定 平成30年3月 異なる事業者間でも同じ区間であれば乗車できる共通定期や、直通と同程度の運賃となる乗継割引の導入が可能となるよう、交通系ICカードシステムを改修 平成30年5月から、順次、共通定期券制度を導入
27	アストラムラインの利用しやすい運行ダイヤの編成	実施		○		大町駅におけるJR可部線とアストラムラインとの乗継や新白鳥駅開業に伴うJR可部線及びJR山陽本線とアストラムラインとの乗継をスムーズに行うため、アストラムラインの運行ダイヤの改正を検討
28	交通系ICカードの利用拡大	実施	実施	○		平成30年3月から、PASPY利用可能エリアにおいてSuicaなど、ICOCA以外の9種の全国共通カードのサービスを開始
29	バス停及び路面電車電停の上屋、ベンチ等の設置	実施		○		広告付きバス停上屋を84基、広告付き電停上屋を2基設置

交通結節点の改善

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
30	JR広島駅自由通路等の整備	事業着手	完成	○		ペDESTリアンデッキ:平成28年10月完成 新幹線口広場:平成29年9月完成 JR広島駅自由通路:平成29年10月に供用開始
31	JR西広島駅周辺地区交通結節点整備	事業着手	実施	—		平成24年度 南北自由通路の都市計画決定 平成29年度 JR西日本と南北自由通路等の施行に係る協定を締結し、実施設計に着手
32	JR広島駅南口広場の再整備		検討	—		平成26年度に広島駅南口広場再整備等に係る基本方針を決定・公表し、基本設計に着手 平成28年度から環境影響評価手続きなどを進めている

生活交通の確保

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
33	生活交通を維持するためのバス運行対策		実施	○		地域住民にとって必要不可欠な乗合バス路線の欠損額の一部を補助することにより、バスの運行を確保
34	地域主体の乗合タクシー等の導入		実施	○		安佐北区口田地区等6地区における乗合タクシーの実験運行・本格運行に対して収支不足額の補助等による支援を実施

バリアフリー化の推進

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
35	低床バス(低公害バス)の導入		実施	○		バス事業者による低床・低公害バスの導入に対する補助を実施(55台導入済)
36	旅客施設のバリアフリー化		実施	○		平成20年度から、JR新井口駅(下り線ホーム)等のバリアフリー化が完了
37	心のバリアフリー化の推進		実施	○		各交通事業者において、社内優先シートの適切な利用について啓発する車内アナウンスや乗務員の心のバリアフリーに対する社内教育を実施

都心の回遊性・にぎわいの創出

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
38	都心循環バスの導入		実施	○		平成25年度から、循環バス「ひろしま めいぐるーぷ」を導入 平成30年5月13日から、都心循環バス「エキまちループ」を運行開始
39	路上荷さばきの自粛(路上荷さばきのルール化)		実施	×	荷さばき自粛時間の設定を物流事業者、事業所などで申し合わせたが、ルール化には至らなかったため	荷さばき自粛時間の設定やトラックベイなどのパトロール及び清掃活動の実施(広島県トラック協会等において、路上荷さばきのルール化について検討中)
40	共同集配、共同荷さばき施設の整備		実施	×	社会実験を実施したが、本格実施には至らなかったため	共同集配や共同荷さばき駐車施設などの荷さばき対策の本格実施に向けて、平成21～23年度に社会実験「まちなかecoカーゴステーション」を実施(物流事業者において検討中)
41	荷さばきスペースの確保(路外荷さばき施設の設置)	検討	実施	×	小規模建築物への義務付けが(国の標準条例にないなど)難しいことから、施策の実施をしなかったため	平成29年度の駐車場附置義務条例の見直しの際に検討を行った。
42	トランジットモールの導入	検討	実施	×	社会実験を実施したが、本格実施には至らなかったため	トランジットモールの導入を視野に入れた歩行者天国の社会実験「まちなかホコテン」を平成21～22年度に実施
43	商業・文化・スポーツ施設等と連携した公共交通機関の利用促進策の充実		実施	○		「PASPY乗って買ってキャンペーン」などの商業者と連携した利用促進策を実施

道路空間や公共交通機関の観光資源としての活用

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
(1)	路面電車の軌道敷緑化		実施	○		平成23年度に原爆ドーム前電停、平成24年度に旧市民球場跡地前部分の軌道敷緑化を実施
(2)	可部線廃線敷の利活用の推進		実施	○		平成25年度 旧安芸飯室駅の広場整備工事 平成28年度～ 地元と協議しながら、サイクリングロードの実施設計及び道路新設工事を実施

2. 道路関連施策に関するプログラム

自動車専用道路ネットワークの形成、高速道路IC・空港・港湾アクセスの強化

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年度 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		○	×	○	未達成の理由	
自動車専用道路ネットワークの整備等						
1	広島高速2号線	完成(暫定)	—	○		平成22年度 完成(暫定)
2	広島高速3号線	完成(暫定)	—	○		平成25年度 完成(暫定)
3	広島高速5号線	事業継続	完成(暫定)	×	「住民生活の安全確保、不安解消」を最優先とし住民への丁寧な説明を行ってきた結果、トンネル工事の着手が遅延したため	平成28年度から、トンネル工事に着手
4	国道2号 広島南道路(平面部)(出島～観音)	完成(部分・暫定)	事業継続	—		4車線化や元安川渡河部橋りょうの整備は、今後の交通流動や社会経済状況を見ながら検討
5	国道2号 東広島バイパス	完成(部分・暫定)	事業継続	—		平成25年度 一部区間(瀬野西IC～中野IC)が暫定供用
6	国道2号 安芸バイパス		事業継続	—		国土交通省において、暫定2車線による全線供用に向け、事業用地取得及び道路改良工事等を実施
7	都市計画道路 広島南道路(太田川放水水路渡河部)	完成	—	○		平成25年度 完成
8	都市計画道路 矢賀間所線	完成	—	○		平成22年度 完成
9	都市計画道路 矢賀大州線外1(天満矢賀線)	完成(部分・暫定)	完成(暫定)	×	予算の確保ができなかったため	平成24年度 一部区間完成
10	都市計画道路 東雲線外1	完成	—	○		平成22年度 完成
11	県道 温品二葉の里線	事業継続	完成(暫定)	×	関係機関等との調整に不足の日時を要したため	事業用地取得及び道路新設工事等
12	市道 安芸1区平原線	完成	—	○		平成26年度 完成
13	市道 安芸1区中野瀬野線	完成	—	○		平成26年度 完成
14	市道 安芸1区瀬野線	完成	—	○		平成25年度 完成
15	市道 安芸1区上瀬野線		事業継続	—		道路新設工事等
(3)	広島南道路(Ⅱ期)供用に伴う関連道路整備	完成	—	○		平成25年度 舟入南六丁目交差点の改良工事等を実施 平成26年度 吉島西一丁目交差点の改良工事等を実施

広域的な交流・連携の促進

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年度 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		○	×	○	未達成の理由	
近隣市町を連絡する広域連絡幹線道路網の整備						
16	国道54号 可部バイパス	完成(部分・暫定)	事業継続	—		平成25年度 一部区間(安佐北区三入～大林3丁目)が暫定2車線供用
17	国道433号	事業継続	完成	×	予算の確保ができなかったため	事業用地取得、道路改良工事等
18	国道488号	完成(部分)	完成(部分)	○		平成29年度 完成
(4)	国道261号	—	完成	○		平成29年度 完成
19	県道 広島豊平線 ※環境局関連		事業継続	—		事業用地取得、道路改良工事等
20	県道 五日市筒賀線 ※環境局関連	完成	—	○		平成23年度 完成
21	県道 白砂玖島線	事業継続	事業継続	—		道路新設工事等

自転車関連施策

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
(5)	自転車都市ひろしまの推進	実施		○		平成24年度に、様々な自転車施策を横断的・体系的に整理した「自転車都市づくり推進計画」を策定し、自転車施策を総合的に展開
22	自転車走行空間ネットワークの整備	実施		○		平成26年度に、デルタ市街地を対象とした「広島市自転車走行空間整備計画(デルタ市街地編)」を策定し、車道での自転車走行空間を約6km整備
23	レンタサイクル(コミュニティサイクル)システムの導入	実施		○		平成22～24年度に、環境省・国土交通省と連携して、コミュニティサイクル社会実験「のりんざいぐるHIROSHIMA」を実施し、平成26年度からは、観光レンタサイクル「びーすくる」を開始 なお、平成30年度から、観光振興や地域活性化に加えて、市民利用の促進を目指し、名称をシェアサイクル「びーすくる」へ変更
24	駐輪場の整備	実施		○		平成22年度から、小町第一駐輪場等の市営駐輪場を整備・拡充(収容台数 約4,000台増) あわせて、平成26年度に相生通り・白鳥通りなど、平成29年度に国道54号において、民間路上駐輪場を整備(収容台数 計614台)
25	自転車利用者への指導啓発活動	実施		○		駐輪指導員による街頭指導及び事業所・学校等への訪問指導を実施
26	放置自転車の撤去	実施		○		放置規制区域では即時撤去、その他の地域では長期間(7日間以上)の放置が認められるときに撤去を実施 新たな民間路上駐輪場の整備に伴い、放置規制区域を拡大
27	建築物における駐輪場の附置義務基準の見直し	検討	実施	○		平成29年度 附置義務の対象施設に事務所を追加するなど、附置義務基準を見直す条例改正
28	自転車の交通ルール・マナーの周知	実施		○		市内の中・高1年生への副読本配布、街頭キャンペーン及び街頭指導等の実施 平成29年度に、「広島チャレンジサイクル事業」として、「見て・聞いて・やって実感」のテーマのもと、本通り等において「放置自転車ゼロの日キャンペーン」、集客施設において「マナーアップフェスタ」を実施

生活交通の確保

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
29	高齢者が利用しやすい移動手段の開発促進とその普及、安全な移動環境の整備	実施		○		高齢者の安全な移動環境の整備を図るため、主要な駅周辺や公共施設周辺を中心に、歩道の段差解消、平坦性の確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置、透水性舗装の敷設など、歩道のバリアフリー化を実施

環境負荷の低減

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
30	道路照明灯の省エネ化の推進	実施		○		水銀灯の球切れによる取替えの際に、消費電力の少ない省エネルギータイプのランプへの交換を実施
31	環境対応車等が安心して走行可能となるインフラ整備	検討	実施	○		(電気自動車等の環境対応車がある程度普及し、民間の商業施設や自動車販売店、駐車場などで充電施設の整備が進められている。)

バリアフリー化の推進

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
32	道路のバリアフリー化	実施		○		主要な駅周辺や公共施設周辺を中心に、歩道の段差解消、平坦性の確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置、透水性舗装の敷設など、歩道のバリアフリー化を実施

安全で快適な歩行者空間の確保

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
歩道の整備						
33	国道2号(宮島街道)	事業継続	事業継続	—		歩道改良工事等
34	国道433号	事業継続	完成	×	予算の確保ができなかったため	事業用地取得及び歩道新設工事等
35	県道 広島三次線	完成	—	○		平成23年度 完成
36	県道 広島豊平線	完成	—	○		平成23年度 完成
37	県道 東広島白木線	完成	—	○		平成24年度 完成
38	県道 広島中島線	事業継続	完成	×	関係機関等との調整に不測の日時を要したため	事業用地取得及び歩道改良工事等
(6)	県道 五日市停車場線	事業着手	完成	○		平成29年度 完成
(7)	市道 東5区6号線(二葉の里)	完成	—	○		平成25年度 完成
(8)	市道 安芸1区121号線(亀田第4踏切)	—	—	—		歩道改良工事等
39	あんしん歩行エリアの整備	実施		○		広島駅地区、舟入地区、庚午地区、五日市地区、船越地区などにおいて、歩道、区画線等の交通安全施設の整備を実施
(9)	安心・安全な通学路の整備	実施		○		亀山小学校、三入小学校、安小学校などの通学路において、歩道改良工事等を実施
電線類の地中化による無電柱化						
40	都市計画道路 御幸橋三篠線	完成	—	○		平成23年度 完成
41	県道 東海田広島線(城北通り)	完成	—	○		平成24年度 完成
42	市道 中1区駅前吉島線(駅前通り)	完成	—	○		平成26年度 完成
43	市道 中1区鷹野橋宇品線(鷹野橋)	完成	—	○		平成23年度 完成
44	市道 中2区吉島観音線(吉島)	事業継続		—		電線共同溝工事等
45	市道 中2区中島吉島線(吉島通り)	事業継続		—		電線共同溝工事等
46	市道 中3区中広宇品線(城南通り)	事業継続	完成	○		平成29年度 完成
47	市道 南4区中広宇品線(翠町)	事業継続	事業継続	—		電線共同溝工事等
48	市道 西1区駅前観音線(中広通り)	事業継続	事業継続	—		電線共同溝工事等
(10)	市道 中1区霞庚午線	事業着手	事業継続	—		平成24年度から、詳細設計、地下埋設物移設等に着手
(11)	市道 中3区中広宇品線(城南通り・2工区)	事業着手	事業継続	—		地下埋設物の移設等
(12)	市道 東5区常盤橋若草線	完成	—	○		平成26年度 完成
49	広島市民球場への歩行者用道路整備	事業継続	事業継続	—		【天神川駅方面】平成21年度 完成 【広島駅方面】平成27年度から、詳細設計等に着手
50	交通安全意識の高揚	実施		○		各季の交通安全運動における各種啓発活動、交通安全教室の開催、事故情報の提供、高齢者への反射材の配布などを実施

生活道路の整備

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
51	生活道路の整備	実施		○		拡幅や線形の改善、隅切り、歩道の確保等の整備
(13)	安佐市民病院アクセス道路整備(市道 安佐北3区103号線外2路線)	—	—	—		測量、実施設計、用地取得等

都市内移動の円滑化

No	施策名	スケジュール (中間見直し後)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
		(平成26年度 まで)	～平成29年 度	○ ×	未達成の理由	
拠点地区を連絡する街路の整備						
52	都市計画道路 長東八木線(3工区)	事業継続	完成	×	関係機関等との調整に不足の日時を要したため	平成28年度 一部区間完成(暫定)
53	都市計画道路 震庚午線(8・9工区)	事業継続	完成(部分)	×	関係機関等との調整に不足の日時を要したため	事業用地取得、道路改良工事及び電線共同溝工事等
54	都市計画道路 中筋温品線(1・6工区)	事業継続	完成(部分)	×	予算の確保ができなかったため	平成29年度 一部区間完成(暫定)
(14)	都市計画道路 長東八木線(4工区)	—	—	—	—	実施設計
良好な市街地を形成する街路の整備						
55	都市計画道路 寿老地中地線(11工区)	完成	—	○	—	平成24年度 完成
56	都市計画道路 吉島観音線外1(駅前観音線)	完成(部分)	完成	×	予算の確保ができなかったため	平成26年度 吉島観音線完成
57	都市計画道路 駅前線	事業継続	完成	×	予算の確保ができなかったため	事業用地取得等
58	都市計画道路 西原山本線(2工区)	完成	—	○	—	平成22年度 完成
59	都市計画道路 畑口寺田線(1-1工区)外1	完成	—	○	—	平成22年度 完成
(15)	都市計画道路 可部大毛寺線外1	事業着手	事業継続	—	—	事業用地取得及び道路新設工事、橋りょう下部工事等
(16)	都市計画道路 矢野中央線(2工区)	事業着手	事業継続	—	—	事業用地取得等
(17)	都市計画道路 畑口寺田線外(3工区)	事業着手	事業継続	—	—	事業用地取得等
市内幹線道路網の整備						
60	県道 広島中島線	事業継続	完成	×	関係機関等との調整に不測の日時を要したため	事業用地取得および歩道改良工事等
61	県道 広島湯来線	完成(部分)	完成(部分)	○	—	平成22年度～平成24年度 一部区間完成
62	県道 久地伏谷線	完成(部分)	完成	×	関係機関等との調整に不測の日時を要したため	平成22年度 一部区間完成
63	県道 中山尾長線	事業継続	完成(部分-暫定)	×	関係機関等との調整に不測の日時を要したため	道路改良工事等
64	県道 伴広島線	事業継続	—	—	—	事業用地取得および道路改良工事等
65	県道 勝木安古市線	事業継続	完成	○	—	平成27年度 完成
66	市道 安芸4区103号線(矢野中央線)(1工区)	完成	—	○	—	平成22年度 完成
(18)	県道 下佐東線	完成	—	○	—	平成26年度 完成
(19)	県道 宇津可部線	事業着手	完成	×	関係機関等との調整に不測の日時を要したため	事業用地取得、道路改良工事等
(20)	東原橋(市道安佐北3区215号線)	事業着手	完成	○	—	平成28年度 完成
(21)	県道 広島三次線(中深川・小河原口工区)	—	—	—	—	道路改良工事
(22)	市道 南1区松原京橋線外1	—	—	—	—	地質調査、実施設計
市街地整備等を支援する街路の整備						
67	都市計画道路 東雲大州線外1(駅前大州線)	事業継続	完成	×	関係機関等との調整に不足の日時を要したため	事業用地取得及び橋りょう架替工事等
68	都市計画道路 比治山東雲線	事業継続	完成	×	関係機関等との調整に不足の日時を要したため	事業用地取得、電線共同溝工事及び道路改良工事等
69	都市計画道路 段原蟹屋線外1(駅前大州線)	事業継続	完成	×	予算の確保ができなかったため	平成20年度 一部区間完成
道路と鉄道の立体交差化						
70	東部連続立体交差事業	事業継続	—	—	—	「見直し修正案」で事業を進めることについて、県・市・府中町・海田町の4者で合意
71	交差点交通処理の見直しによる渋滞対策	実施	—	○	—	59カ所の交差点について対策を実施

都市の防災構造化の促進

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年度 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
(23)	橋りょう長寿命化事業	実施		○		西平和大橋などの上部工補修工事等
72	橋りょうの耐震補強	実施		○		三篠橋などの橋脚補強工事等
(24)	新交通インフラ施策長寿命化事業	実施		○		鋼製主桁や鋼製橋脚の塗装工事、伸縮装置の取替工事等
(25)	新交通インフラ施策耐震対策	実施		○		落橋防止装置の設置工事等
道路法面防災						
73	国道191号(小河内)	事業継続	完成	×	予算の確保が出来なかったため	えん堤工事、除石用道路工事
(26)	道路法面防災	実施		○		五日市筒賀線などの落石防護工事等
(27)	最高寺橋(国道191号)	事業着手	完成	○		平成30年5月に供用開始
74	広域避難路及び緊急輸送道路の整備	事業継続		—		矢賀大州線・東雲大州線など広域避難路の整備、国道191号(小河内)など緊急輸送道路の整備

道路空間や公共交通機関の観光資源としての活用

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年度 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
平和大通りリニューアル事業						
75	平和大橋上流側歩道橋の整備	事業継続	事業継続	—		平成26年度から工事に着手
76	平和大橋東詰めからクリスタルプラザまでの北側緑地帯再整備	事業継続	事業継続	—		平成20～22年度 一部区間の整備(クリスタルプラザ前、ANAクラウンプラザホテル前)
(28)	石畳歩道改良	実施		○		平成27年度に相生通りで実施
(29)	猿猴橋の復元(被爆70周年記念事業)	事業着手	完成	○		平成27年度 工事、完成

空間的な有効活用

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年度 まで)		スケジュールの達成状況		主な取組状況
				○ ×	未達成の理由	
77	高速道路の有効活用	検討	完成	○		平成24年度に広島高速道路の通行料金割引実験を実施 平成29年度に沼田スマートIC開通
(30)	広島南道路(Ⅱ期)高架下等を利用したまちづくり	実施		○		平成28年度 吉島・江波・観音地区では、施設整備を完了し、広場の供用を開始 平成29年度 宇品・出島地区において、広場等の整備工事に着手

3. 交通需要マネジメント施策に関するプログラム

交通需要マネジメントの推進

No	施策名	スケジュール (中間見直し後) (平成26年度～平成29年 まで)	スケジュールの達成状況		主な取組状況
			○ ×	未達成の理由	
1	時差通勤の推進	検討	—		マイカー乗るまあデーの取組に併せ、環境にやさしい交通行動の1つとして、ホームページや環境関連イベント等により広報・啓発活動を実施
2	パーク&ライド駐車場の充実	実施	○		広島都市圏パーク&ライド推進協議会において、周辺自治体と連携した広報活動を実施
3	環境にやさしい自動車専用レーンの導入	検討	—		(平成22年度に「環境にやさしい自動車の優先通行レーン社会実験」を実施(今後、電気自動車等の普及の高まった時期に改めて検討予定))
4	カーシェアリングの促進	実施	○		複数の事業者においてカーシェアリングを実施
5	ロードプライシングの導入	検討	—		(ロードプライシングについては長期的課題として整理しており、国の動向や他都市の状況等を注視している状況)
6	マイカー乗るまあデーの推進	実施	○		ホームページによる広報、ポスターやチラシの配布、環境関連イベント等での積極的な広報・啓発等を実施
7	モビリティ・マネジメント (TFP:トラベルフィードバックプログラム)の実施	実施	○		「交通と環境」学習を市内小学校で実施 平成27年度から、各区において、転入者に対し、市内の公共交通に関する情報提供
8	アストラムラインに対するブランドイメージの向上	実施	○		車両基地見学会などのイベントやイメージポスターの掲載、アストラムライングッズの販売、サンフレッチェ応援列車の運行、サンフレッチェやカーブ等のラッピング列車の運行、ハート形つり車の設置等を実施

事業箇所図



凡例	
	高速道路
	有料道路
	国道（国管理）
	その他道路（市管理）
	J R
	広島電鉄宮島線
	路面電車
	アストラムライン

事業箇所	
	道路関連施策（広島高速道路）
	道路関連施策
	公共交通施策
	完成箇所

事業箇所図（拡大図）



- 凡例
- 高速道路
 - 有料道路
 - 国道（国管理）
 - その他道路（市管理）
 - J R
 - 広島電鉄宮島線
 - 路面電車
 - アストラムライン

- 事業箇所
- 道路関連施策（広島高速道路）
 - 道路関連施策
 - } 公共交通施策
 - } 完成箇所
 - } 完成箇所